

空き家対策について

廣橋 多久市における空き家の現状について。

答弁 空き家総数が910戸で、平成28年度の調査に比べますと148戸増加となっています。

廣橋 居住可能、補修すれば居住可能、居住不可能の3つに分類した場合、それぞれの戸数は。

答弁 居住可能は261戸、補修すれば居住可能は306戸、居住不可能は343戸です。

廣橋 居住不可能に分類される空き家のうち、周辺住民に危険を及ぼす可能性があるものは。

答弁 周辺への影響が著しく大きい空き家として市が特定空き家などに認定しているものは14件です。

廣橋 空き家解消のための対応策と成果は。

答弁 空き家相談窓口の相談件数は、平成24年度から令和5年度までに全部で240件の相談を受けています。そのうち、市から指導を行った件数が149件です。空き家バンクは、平成22年度に登録を開始して



廣橋時則 議員

から令和5年度までに291件あります。他には、不良住宅除却費補助金や、空き家の活用促進を図る目的で平成27年度より一定要件を満たすものに対して補助金を助成しています。

廣橋 多久市を活性化していくためには古民家風のカフェとかふれあいサロン化など再生利活用の方策も考えるべきではないか。

答弁 令和6年度からの新規事業として、多久市新規出店者誘致支援事業を開始しました。この事業は、多久市内の空き店舗などを改装し、新たに出店を行う場合にその改築費用の一部について最大50万円を上限に補助します。また、空き家バンクに登録の物件も対象となります。本年度は2件の募集を行い2件の応募があつています。

中央公園について

小川 公園内にドッグランなどをつくることはできないか。

答弁 公園の、種別としては運動公園であり、公園利用者全体の安全性や利便性を考慮する必要があるのでドッグラン整備の計画には至っていません。

小川 おしどり池を、埋め立て縮小し、芝生広場などにして、障害者の利用も可能なエリアにできないか。

答弁 公園整備以前から同池は存在しており、防災上の面からも縮小することは、今は考えていません。また、全ての人が利用可能なバリアフリーの整備を一部行っています。

小川 公園内にWi-Fi機能を設置できないか。

答弁 今現在、中央公園に限らず人の集まる場所につきまして、多久ケーブルと協議を行って、整備ができればと考えています。

小川 公園内に「パークPFI制度」飲食店や売店導入を検討できないか。

答弁 全国的には、「パークPFI制度」飲食店や売店導入制度ですが、



小川三郎 議員

中央公園では指定管理者制度を導入しています。「パークPFI制度」導入については、今後研究を行っていきたくと考えています。

【その他の質問】
▼高齢者の移動手段について



公営住宅の現状と管理について

尾形 現在の入居数と空部屋の状況は。

答弁 市が管理する公営住宅は全部で9団地315戸、空き部屋は30件、入居待ち数7件、但し砂原団地は改修のため現在募集していません。

尾形 公営住宅敷地内の樹木管理と作業内容は。

答弁 年一回、業者に委託しています。剪定と害虫対策として薬剤散布も実施しています。

尾形 公営住宅に住みつくハトの対策は。

答弁 侵入防止ネットを張るなどの対応をしています。また、他の対策も研究しています。

尾形 砂原団地の改修工事が予定されているが改修内容と期間は。

答弁 県が管理する砂原団地と同等の改修工事を予定しています。浴室ユニットバス化（シャワー付）、流し台、ガス台、洗面台の取り換え、給湯器による3点給湯（台所、浴室、洗面所）床板張替えによる段差解消など。期間は2年でしたが1年延長



尾形武史 議員

し十分な改修工事を行います。

尾形 二輪駐車場などの付属施設も老朽化しているが、今回の改修工事に含まれているのか。

答弁 当初、計画には入っていませんでしたが、現場を確認したところ危険な状態だったので、今回の改修工事に併せて対応します。



多久市の観光について

坂口 今年4月、2050年には20代から30代の女性が激減し多久市は消滅都市の可能性があり、との報道を受け地域の活性化が重要となる中、多久市の観光についての取組みは。

答弁 歴史や文化、自然など多様性に富んだ観光資源を活用し多久市観光協会や市内各種団体などと連携しながら取組んでいます。

坂口 若者や子育て世代に興味や関心を持って貰えるような新たな取組みは。

答弁 物づくりやウォーキング、揚琴の演奏などさまざまな体験観光やロマサガ列車の多久駅を含むJR唐津線の主要駅でのスタンプラリーなどを実施してきました。

坂口 現在、東多久町には、公立佐賀中央病院が建設中でこれから交通や近隣周辺の開発が考えられ郷土の偉人・志田林三郎博士に再び焦点を当て観光資源としての考えは。

答弁 地域の資源として学校教育のほか観光資源として活用できないか研究していきます。



【その他の質問】
▼带状疱疹予防接種について

次々と手を打って頂きたい。